

ウクライナと「核」の脅威

Frank N. von Hippel

フランク・フォンヒッペル

プリンストン大学科学・世界安全保障プログラム

公共・国際問題名誉教授

原子力資料情報室

核燃料サイクル特設サイト開設記念シンポジウム

「核危機と平和利用—六ヶ所再処理工場の操業が持つ意味」

於東京 2022年4月28日

概要

原子力は非核兵器戦争をより危険にするか？

ウクライナは継承した核兵器を手放さずにおくべきだったか？

日本はその核武装オプションを維持すべきか？

日本は六ヶ所工場を運転すべきか？

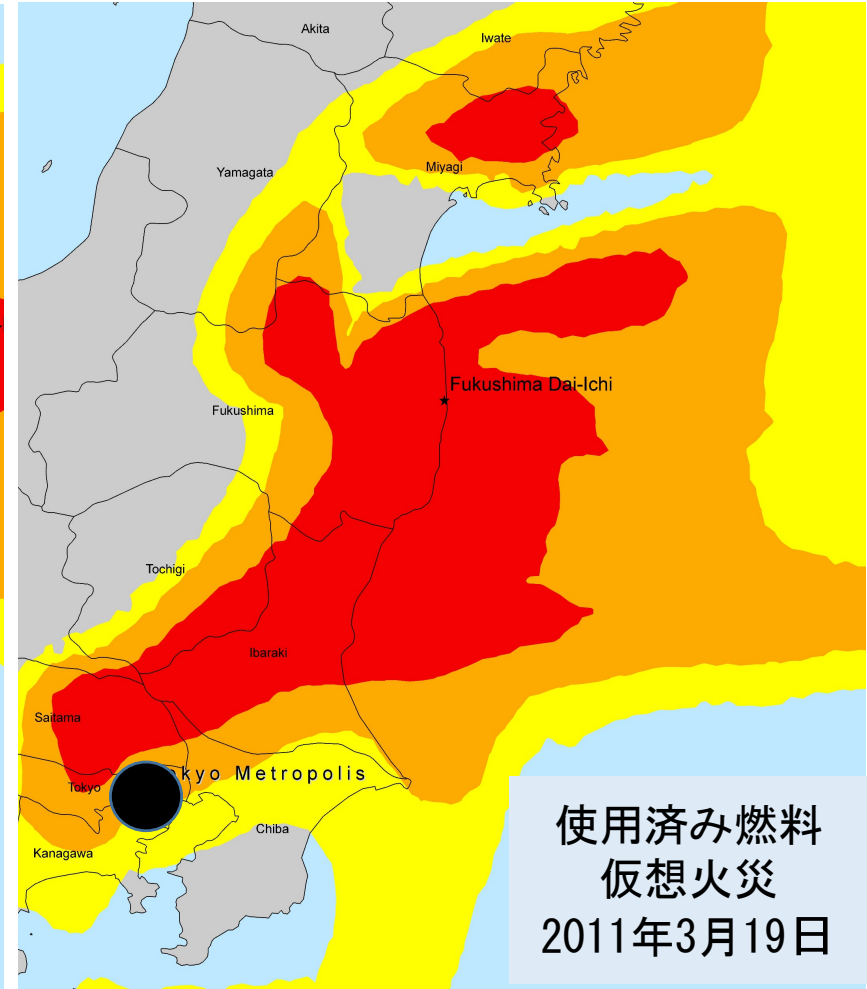
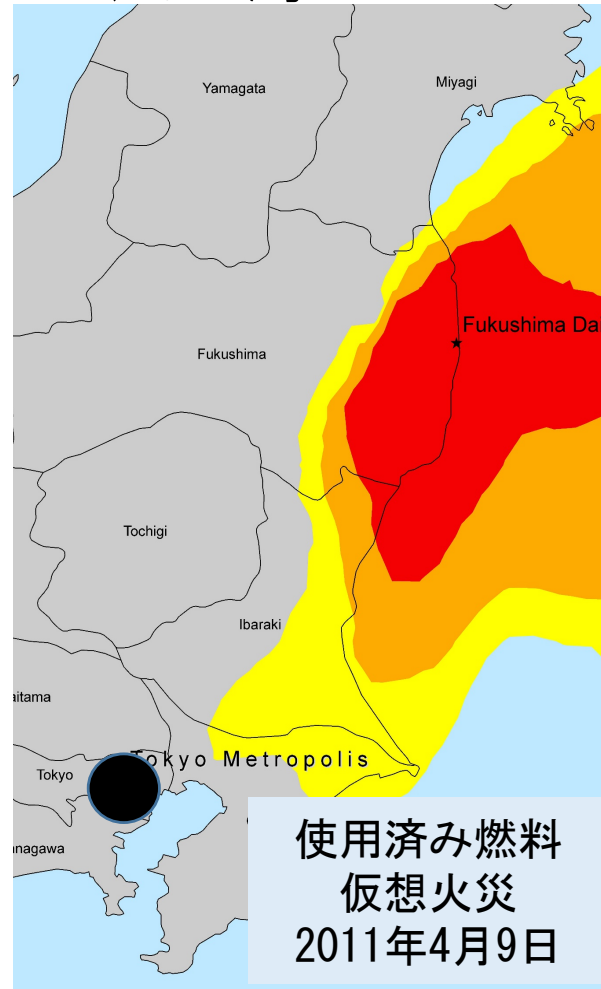
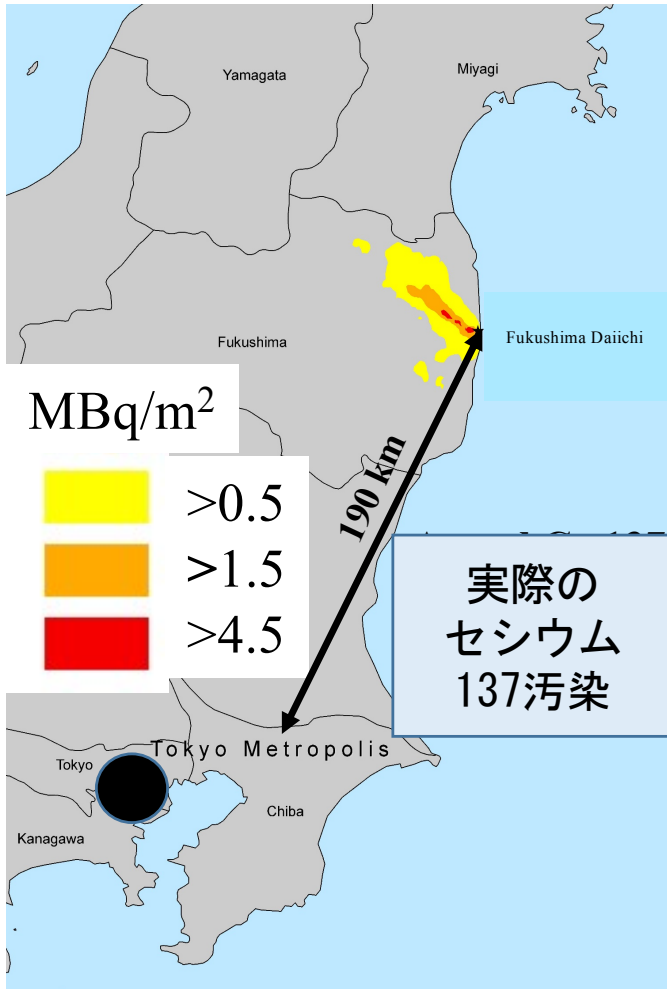
私たちは、核兵器とプルトニウムの両方をなくせるか？

原子力は戦争をより危険にするか？

イエス！戦争は、使用済み燃料プールや放射性廃棄物貯蔵タンクの冷却喪失を起こし得る。

風：海へ

風：東京へ



福島事故

福島第一4号機プールの火災

ウクライナは継承した核兵器（約5000発）を手放さずにおくべきだったか？（ベラルーシとカザフスタンも継承国だった）

- 核兵器及び指揮系統のインフラはロシアにあった。
- ロシアは、ウクライナが支援インフラを作る前に核兵器を奪い取っていたかもしれない。
- しかし一部の非核兵器国は別の教訓を引き出している——核兵器を放棄した後のイラクに対する米国の攻撃（2003年）、リビアに対するNATOの攻撃（2011）、そして、今回のウクライナに対するロシアの攻撃から。
- 日本、ブラジル、イランは、核兵器オプションを維持している。
- また、日本その他の約30カ国が米国の核の傘の下にある。これには、核以外の攻撃に対して米国がその核を先に使う可能性が含まれる。

日本はその核兵器オプションを維持すべきか？

日本が不必要で非経済的な核燃料サイクル施設を維持している一つの理由はこれか？

- 混合酸化物（MOX）燃料としてプルトニウム・リサイクルをすると、それは日本にとって、同等量の低濃縮ウラン燃料を使った場合より一桁高いコストを伴うことになる。
- 一方、2020年末現在日本にある約9トンの未照射（＝未使用）プルトニウムは、長崎原爆ならおよそ1000発分、近代型の核弾頭なら2000発分に相当する。
- 日本原燃の小さなウラン濃縮能力は、原発一基の燃料を提供するのにも足りない。
- だが、この能力があれば、年間300kgの兵器級ウランを生産することができる。近代型の核分裂弾頭にして、年間25発分だ。5%の低濃縮ウランを原料にした場合は、年間1700kg、年間140発分だ。

日本は六ヶ所再処理工場を運転すべきか？

- 日本原燃・電事連の計画では、23-24年度に2トンのプルトニウムを分離し、22-25年年度に2トンのプルトニウムを装荷することになっている。
- だが、MOX燃料に入れられたプルトニウムは、フランスから来ることになっている（日本で分離された2トンは2年後に燃料にする計画だ。）
- 従って、日本国内のプルトニウムは、23-24年度に2トン増える。

六ヶ所のMOX燃料工場が運転される日はくるだろうか？

- 「2012年に運転開始の計画だが、この予定通りには決して行かないだろう」原子力資料情報室英文誌 *Nuke Info*, July/August 2007
- 「2024年度上半期しゅん工予定」日本原燃（運転開始は2025年度）。だが、進捗率は、2021年6月現在約12%でしかない。
- 日本原燃のMOX工場が運転される日はこないかもしれない：英国のMOX工場は1997年に完成したが、2011年に放棄された。10年間の平均設備利用率は1%。その結果、22トンの日本の分離済みプルトニウムが英国で置き去りにになっている。

我々の目標とすべきは：核兵器ゼロ、分離済みプルトニウムゼロ、単一国家所有の濃縮工場ゼロ

- 長崎以来、都市に対する核兵器使用がなかったのは幸運によるものだ。私たちは、何回もの使用の威嚇や誤警報、そして何人かの人格障害を抱えた指導者を見てきた。
- 幸運が続くと想定することはできない。

日本には、米国が核の先制不使用の立場をとることに反対するのではなく、他の国々とともにすべきことがある：

- 米国に、そして、すべての核保有国に対して、核兵器の先制不使用を約束するよう呼びかけること。
- 6月にウィーンで開催予定の第一回核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバーを送ること。
- いかなる目的のものであれ、プルトニウムの分離をやめ、現存のプルトニウムをなくすこと。
- ドイツ、オランダ、英国の例に倣い、すべてのウラン濃縮工場を複数国の管理下に置くこと。

民生用プルトニウム分離の
危険性に関する
もっと詳しい情報に
ついては
この本

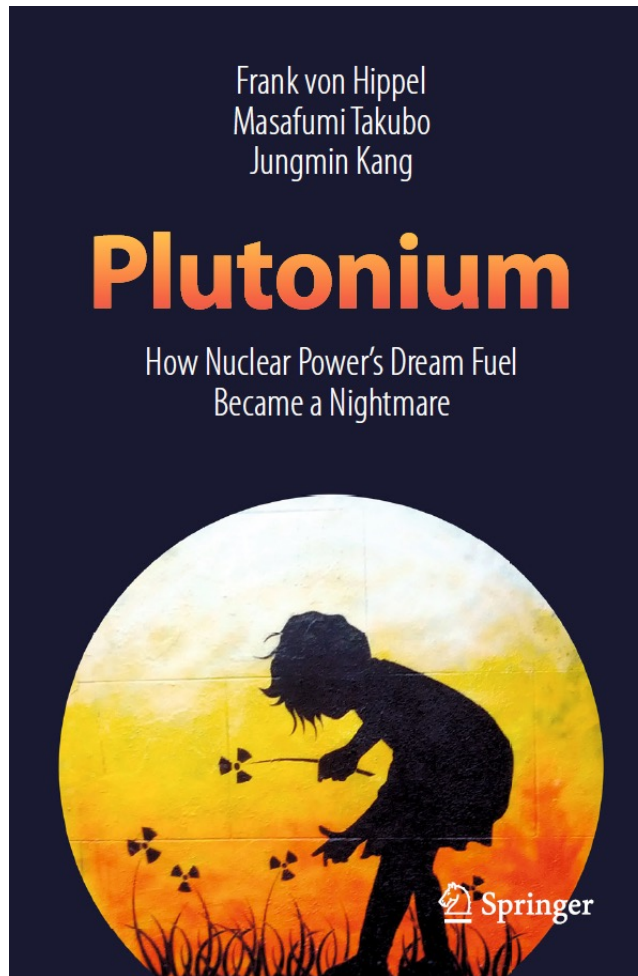


そしてその日本人共著者の
ウェブサイト 核情報

のご活用を！



<http://kakujo.net/>



核情報

[核情報ホーム](#) > [原発](#)

▶核開発疑惑国
北朝鮮
イラン

▶米国の核政策
ミサイル防衛
新型核

▶冷戦後の偶発核戦争
六カ所・再処理

プルトニウム削減への電力間融通、と報道 —国際社会の懸念を払拭できるか？

2月16日、東奥日報が「電事連、プルトニウム削減へ電力間融通」と報じました。「電気事業者連合会（電事連）は、電力各社が英仏に保管しているプルトニウムの消費に向け、各社間で融通し合い総量を削減する方向で調整」していて、「電事連は近く融通案を公表する」とのことです。電事連が昨年2月に公表していた英

Tweet

2022. 2.18~